

リコール情報

令和6年12月10日届出 令和6年12月11日作業開始 リコール届出番号 外-3912

この度は大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。対象車両をお持ちのお客様には、誠に恐縮ではございますが、速やかに作業(無料)に取りかからせて頂きたいと考えておりますので、ご協力の程お願い申し上げます。

1. 不具合の内容

尿素水ポンプユニットにおいて、製造工程の部品管理が不適切なため、耐久性・信頼性を満足していないダイヤフラム(ゴム製振動板)が組み込まれたものがあります。そのため、そのまま使用を続けると、当該ダイヤフラムの劣化によって尿素水の内部漏れが生じ、電気回路が短絡することで尿素水ポンプの機能が損なわれ、インストルメントクラスタに警告灯が点灯するとともに排出ガス中の窒素酸化物(NOx)の排出値が基準値を超えるおそれがあります。

2. 改善の内容

尿素水ポンプユニットを良品に交換いたします。

3. 対象車両:17台

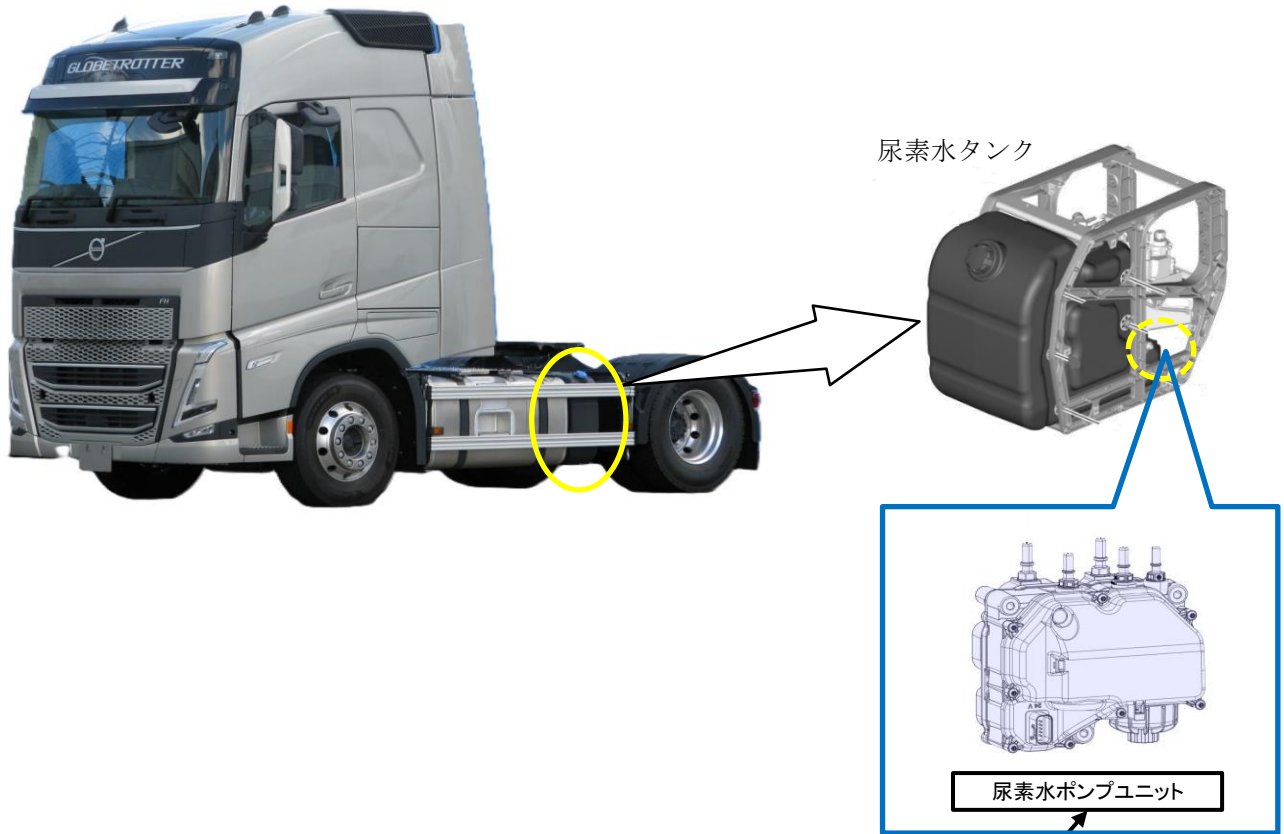
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ボルボ	2PG-4S2TDA1	「FH」	YV2RTY0AXRA342140 ~ YV2RTY0AXRA342204 令和6年1月5日	3	
	2PG-4S2TEA1		YV2RTY0AORA341871 ~ YV2RTY0A8RA342301 令和6年1月5日	14	
	(計2型式)	(計1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 令和6年1月5日	(計17台)	

※対象車に含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれます。

※対象車の輸入期間はご購入の時期とは異なります。

お客様のお車が対象車両かどうかにつきましては、ご購入いただいた又は整備を依頼しているボルボ・トラック正規ディーラーへお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

尿素水ポンプユニットにおいて、製造工程の部品管理が不適切なため、耐久性・信頼性を満足していないダイヤフラム（ゴム製振動板）が組み込まれたものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ダイヤフラムの劣化によって尿素水の内部漏れが生じ、電気回路が短絡することで尿素水ポンプの機能が損なわれ、インストルメントクラスタに警告灯が点灯するとともに排出ガス中の窒素酸化物（NOx）の排出値が基準値を超えるおそれ

改善の内容

全車両、尿素水ポンプユニットを良品に交換する。

注： は、措置する部品を示す。

識別：作業完了車には、フロントハッチ内車両諸元プレート左端上に緑ペイントを塗布する。